

**「第 1 回 製剤機械技術学会 仲井賞若手研究者奨励賞」
受賞者の選考結果について**
**1st NAKAI Young Investigator's Encouragement Award of
Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering**

仲井賞選考委員会 委員長 山本 浩充
Hiromitsu YAMAMOTO
Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立 10 周年を機に、2000 年より「仲井賞」を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。2017 年 1 月に本会名誉会長仲井由宣先生がご逝去されました。製剤機械技術学会は仲井先生のお持ちであった本会創設にあたっての理念、目標を継承、発展することを目的とし、新たに「仲井賞若手研究者奨励賞」を設け、基礎研究、応用研究、または技術開発を通じて優れた業績を上げた 40 歳未満の会員を表彰することにいたしました。

仲井賞選考委員会において、応募内容について、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第 1 回 製剤機械技術学会 仲井賞若手研究者奨励賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

記

・授賞者：岩尾 康範（静岡県立大学 薬学部）

・授賞業績題目：遠心転動造粒装置を用いた原薬高含有機能性微粒子の製剤設計

・授賞理由：受賞者は、粉体工学をベースとした製剤設計・統計学的手法を取り入れた製造条件最適化など、活発に研究活動を進めている。今回の申請業績では、汎用性の高い遠心転動造粒装置を用い、高含量の薬物からなる顆粒の設計や、胃内で浮遊する中空微粒子製剤の設計など、既存の装置でありながら創意工夫により機能性製剤を設計するといった興味深い成果をあげている。製剤に関する製造技術を利用、発展させたその研究実績は、本学会の設立の趣旨に沿ったものであり、製剤機械技術学会に対する貢献度も大きいと評価される。また、研究活動だけでなく、製剤関係の学会などでも幅広く活躍されており、若手研究者奨励賞に値する実績を十分に挙げていると判断した。

以上